

イラストコーナー

イラストは
たてに描いてね



松本 絢里 さん



松坂 紀香 さん



宮川 妃奈乃 さん

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

▼中学3年の時、郡大会で優勝。
(写真中央)仲間との一枚。優勝旗を手に



先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

先輩の思いを受け継いで



御船小学校 河地 浩太郎 教頭
(御船町木倉出身・51歳)

中学生から、バスケットを始めました。身長が伸びるのではとの単純な動機でしたが、やってみると楽しいスポーツでした。しかし、練習は厳しいものがありました。特に、辺田見周辺のランニングや筋力トレーニングは、涙がでるくらいでした。ただ、それを乗り越えた事は、今の自分に確かに生きています。

私が一年生の時の御船中は、力の上でも強かったのですが、浜町中学校(当時)も強く、中体連では惜しくも負けてしまいました。その時の先輩達の悔しい思いを考えると、なんとか勝ちたいという強い思いがわいてきました。それから二年、きつい練習でしたが、三年生の時に郡大会で優勝することができました。もうすぐ中体連ですが、練習の成果を発揮し、精一杯頑張ってほしいです。

まちへのラブレター

4 月も半ばを過ぎてようやく春を感じる頃となりました。毎月号、人のうごき欄をみて一つの歴史を感じています。うぶごえよりおくやみ欄が多いこと、むすばれ欄が数少ないこと、しかし御船出身者同士の結ばれは結構なことですね。

4月号の25ページのBOOKの紹介に小生の「熊本県 謎解き散歩」を紹介いただき感謝いたします。この書は意外に評をいただき2刷りとなりました。今後とも広報みふねの編集の充実と発展を期待しています。

(熊本市・Iさん)

町の図書司書から「熊本を楽しく再発見できる本です」と紹介いただいた本です。県民でありながら、知らないことがたくさん見つかる、故郷くまもとをもっと好きになる本になるのではないのでしょうか？広報を通して人の動きや町の変わりゆく様をこれからも伝えていけたらと思っています。

(広報担当)

5 月13日に幻の滝「七滝」がよみがえるのですね。写真で見ただけでも、とても雄大で美しいですね。ぜひ遊びに行きたいところですが、生後3ヶ月の赤ちゃんと一緒に息子を連れていくのは無理そう。今年はあきらめて来年見にきたいです。

(辺田見・Mさん)

年に一度、放流される「七滝」。地域では放流に合わせて滝祭りを開催されています。Mさん今年はずいぶん小さいので行けそうにありませんが、ぜひ一度行ってみる価値がありそうですよ。

(広報担当)

文芸

ひとひねり

短歌

此の年は小鳥の姿あまり見ず鶉の実たわわ待ちあるごとし
正宗タツ子

海のお空の青さを目交にあえぎて登る青海島山

山本志満子

茹でたてのブロッコリーは手入れ良き植木のごとし丸ごと卓へ

市川 結子

デイケアに夫を送りて一人居る庭に来て啼く一羽野の鳥

甲斐レイ子

近道をすれば真面目なカーナビは「リルートせよ」としきりに諭す

金森 英子

遠き日のクラスメイトの生き残り永きフィルム巻き戻すわれ

北村ヤヨイ

前山の棚田の隅に見え隠れ冬ごもりする農家三軒

西梅 孝子

俳句

御船春菊句会 大坪諸子選

城山や一望千里花の山

黒田 順子

春愁のせみかも奥歯痛みけり

さとうともこ

宝石のごとく翡翠春の川

渡辺 澄江

そののちを見守る城山桜かな

緒方 栞

屹立の根子岳さくら吹雪けり

渡辺ケイ子

何もかもしばし忘れて花吹雪

常石 和子

納骨に晴れをたまはり梅の花

緒方 宣子

肥後狂句

天狗会

あつちへこつちへ 部活が保護者振り回す

増永 笑和

春の野辺 ちよつと汁の実採つて来う

平野 千鶴

見てごらん 新米ババの頑張らす

鳥井 蘭

妙な予感 此頃どうも気前良か

江藤 お竜

昨日の今日 お花見て胃も悲鳴あげ

吉田 楽園

近まって 会釈に念の入つとる

河地 ゆき

妙な予感 日に何べんも見るとポスト

鈴木 千春

一般投稿

飛行機雲 一寸見ぬ間に高く遠く

内村 孝子

団塊の世代に生れし子も早六十路 孫を相手にボール投げする

松岡 文江

独楽まわし幼きころの楽しみが今の時代の伝承遊び

増井 博行

晩秋の黄昏時のにしの空眺めて偲ぶ追憶の人

松永 幸輝

戦争中よその家にて学友らと桑の皮むきする日々なりし

宮崎 明子

眺むれば色づく紅葉の美しき拾いし子供時代忘れず

村上ナミエ